

# 新学術領域研究「精密制御反応場」

## 第2回全体会議・第5回公開シンポジウムプログラム

平成30年5月10日（木）～11日（金）

北海道大学クラーク会館講堂

5月10日（木曜日）

### 【全体会議：非公開】

- 9：00～9：10 領域代表挨拶
- 9：10～10：40 Flash Talk（各自1分、全員発表）
- 10：40～12：30 ポスターセッション（各自1件）
- 12：30～13：45 昼食

### 【公開シンポジウム】

- 13：45～13：50 領域代表挨拶
- 13：50～14：10 トリメタルクラウンエーテルを配位子とする  
異種4核金属錯体の重合触媒への展開  
真島 和志（阪大院基礎工）
- 14：10～14：30 固体表面における金属錯体と有機分子の協奏効果を利用した  
高効率触媒反応  
本倉 健（東工大物質理工）
- 14：30～14：50 Ni-NHC 錯体による C-F 結合切断反応  
生越 専介（阪大院工）
- 14：50～15：10 アルケン類に対するフルオロメチル二官能基化の新展開  
小池 隆司（東工大化生研）
- 15：10～15：30 コーヒーブレイク
- 15：30～15：50 メタロリガンドを利用した多核金属反応場の創出と  
分子変換機能の開拓  
竹本 真（阪府大院理）
- 15：50～16：10 金属錯体の生体分子への精密固定化を基軸とする  
精密制御生体分子反応場の創出  
人見 穰（同志社大院理工）
- 16：15～17：15 **特別講演**  
d 電子複合系による触媒反応：理解と予測への  
理論化学・計算化学アプローチ  
榊 茂好（京都大学福井謙一記念研究センター）
- 17：20～17：30 講評
- 18：00～20：00 懇親会（北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」）

5月11日(金曜日)

【公開シンポジウム】

- 9:30~9:50 タンパク質キャビティを反応場として駆使する  
新触媒の創製  
林 高史 (阪大院工)
- 9:50~10:10 固体触媒を用いた脱水素反応を鍵とする高難度分子変換  
水野 哲孝 (東大院工)
- 10:10~10:30 フッ素脱離過程を活用する選択的  $sp^3$ 炭素-フッ素結合活性化  
市川 淳士 (筑波大数理)
- 10:30~10:50 精密水素移動場を用いるアミド基の形成と反応  
斎藤 進 (名大院理)
- 10:50~11:10 カルボン酸等の入手容易なビルディングブロックの  
触媒的変換反応  
佐藤 哲也 (阪市大院理)
- 11:10~11:30 分子状酸素活性化を用いたアレノール類の  
ヘテロカップリング反応  
内田 竜也 (九大基幹)
- 11:30~11:40 事務連絡・閉会
- 

【ワークショップ:公開】

「理論と実験の融合による高難度物質変換の反応機構解明にむけて」

- 13:30~ 趣旨説明  
長谷川淳也 (北大触媒研)
- 13:35~14:05 計算化学による金属酵素および錯体触媒の研究および理論実験の連携  
吉澤 一成 (九大先導研)
- 14:05~14:35 均一系触媒反応の開発に当たり理論化学に教えてもらったこと  
野崎 京子 (東大院工)
- 14:35~14:55 コーヒーブレイク
- 14:55~15:25 反応経路自動探索法の開発:反応場を考慮した機構解析へのアプローチ  
前田 理 (北大院理)
- 15:25~15:55 理論と実験のインタープレイから生まれた新しい触媒:BN/Au  
武次 徹也 (北大院理)
- 15:55~17:00 ポスターセッション
- 17:00~ 閉会挨拶  
森 聖治 (茨城大理)
- 18:00~ 懇親会